



「山、登ってます」

鳳凰三山って知ってますか？西高生は鳳凰祭なら全力で楽しめますが、鳳凰三山は知らない生徒も多いと思います。晴れていると4階の渡り廊下から綺麗に見える南アルプスの山々。南側から薬師岳、観音岳、地藏岳の三山を鳳凰三山と呼び、日本百名山でもあります。先生も山岳部の顧問になる8年前までは、「何で苦勞してあんな所まで歩いていくんだろう」と思っていました。でも、顧問になって初めて登山を経験し、頂上からの景色はもちろんですが、下界から見て「あそこまで自分の足で歩いて行ったんだなあ」と頑張った自分を毎回褒めています(笑)

将棋の藤井聡太二冠(王位・棋聖)が14歳でプロ棋士デビューした時のインタビューで「20歳までに結果を残したいという思いはあります。名人(のタイトル)もプロになったからには目指すべきものですし、強くならないと見えない景色があると思いますので、そこに立てるように頑張りたいです」とインタビューで答えていました。先生の場合は、頂上に立たないと見えない景色かなあとと思います。

どんなことでも達成感を積み重ねることで自己肯定感は増すばかりです。小さいことでも、ひとつのことを何回もでも、またいろいろなことに挑戦してみることで、何でもいいと先生は思います。やってみてダメだったら、ダメだったということが分かってよしとしましょう！やってみることが大切であり、そこから新しい発見(景色)が見えるはずですよ。

1年次主任 三井恒弘



◎11月行事予定 ~今月から最終下校時刻が18:30です。早めにまた人通りがある時間に帰宅しましょう!~

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	日			16	月	B	きずなの日 生徒総会 定試時間割発表
2	月	B	冬服期間(~4/30) 冬季原付免許取得説明会	17	火	B	
3	火		文化の日	18	水	B	週礼 第4回マナーアップ運動
4	水	B	週礼 カリキュラム委員会	19	木	B	
5	木	B		20	金		県民の日
6	金	B		21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月		勤労感謝の日
9	月	A	きずなの日 運営委員会 履修本登録提出×切	24	火	行	第3回定期試験
10	火	A		25	水	行	第3回定期試験
11	水	A	年次会議 古本バザー	26	木	行	第3回定期試験
12	木	A	職員会議 週礼 古本バザー	27	金	行	第3回定期試験 全統共通プレ(3) 同窓会理事会
13	金	A	ストープ点検 生徒協議会	28	土		土曜講座(1,2) 全統共通プレ(3)
14	土		土曜講座(1,2)	29	日		
15	日			30	月	A	きずなの日

保護者の皆様へ

先月末から運動部所属の生徒は新人体育大会、文化部所属の生徒は芸術文化祭と部活動の大きなイベントが行われています。練習の成果を発揮するとともに仲間と協力してのパフォーマンスはこれらの学校生活においても大きな支えになるはずです。体調面はもちろん心理的にも保護者の方々の協力があるのが部活動です。日頃のご理解とご協力に感謝いたします。また、今月末は第3回定期試験が4連休明けに予定されております。秋の夜長ではありますが、夜遅くまで学習し過ぎることないように、体調管理も大事なテスト対策とお声掛けくださればと思います。

◎先生方からの寄稿 今月は2組の担任 志村美紀先生、副担任 有賀 先生です。

こんにちは。1年2組担任の志村美紀です。今回の寄稿にあたり、昨年度「うーちゃん」というモンゴル人の女の子(?)女性(?)に出会った話をしたいと思います。うーちゃんは、初めて訪れた国で右往左往していた私たちに、「ガイドにつきます。うーちゃんって呼んでください!」と日本語で声をかけてきました。モンゴルには大会に参加するため訪れていましたが、私たちが困らないように会場までの案内や、ホテルでの過ごし方など細やかに気を配ってくれたことを覚えています。色々話をしてみると、日本に短期留学したことがあり、日本の清潔さや心配りにとても感動したこと、まだ16歳の高校生(!)でこの大会にはボランティアで参加していることなどを教えてくれました。うーちゃんはモンゴル語、英語、日本語を話せるトリリンガルで、モンゴルで国際大会が開催されることを喜んでボランティアに申し込んだ高校生の1人だったそうです。



1週間ほどの滞在でしたが、うーちゃんが話してくれたことが忘れられません。「モンゴルは若い人たちが国を良くしようとすごく頑張ってる!まだポイ捨てが多かったり、車のマナーが悪かったり、直さなきゃいけないことはたくさんあるけど、私たちはモンゴルが好きだし、海外の人にもそう思ってもらえるような国にしていきたい。だから今回の大会で皆さんにモンゴルの良い所を少しでも知ってもらえたら嬉しい!」このような話を何度か聞きました。運転手の方たちの行動がゆっくりしていて送迎バスが遅れた時などは「どうして!?こういう意識から変えてかなきゃいけないのに…。皆さん、時間通りに動けなくてごめんなさい。」と言われてしまいました。高校生のボランティア。ですが国を良くしていきたい。これからのモンゴルを作っていくのは自分たちだ!という強い意志を何度も感じました。発展途上国ならではの…ということもあるかもしれませんが、高校生の熱意に打たれ続けた1週間でした。



日本では若い世代が「この国を…」と考えることは少ないかもしれませんが。ですが目標を達成するためにできることを考え、実行するということには変わりはないと思います。ぜひ今、してみたいことがあるなら、どんなことであれ、ぜひ一歩を踏み出してほしいと思います。あと2年半、皆さんの熱意をたくさん感じられることを楽しみにしています。



2組担任 志村 美紀

2組副担任の有賀駿です。今回は、なぜ私が「英語」の教員を目指したのかを少し書かせていただきます。学生時代はサッカーに没頭していました。小学生の時に日韓ワールドカップが開催され、世界を間近に感じるようになりました。いろいろな国へ行き、現地でサッカーを見たいと思い、地図帳を広げて国名や位置を覚えること、国旗を覚えることを始めました。その時にふと思ったことが言語です。現地に行きたいという思いから、言語も話せたらと考えたことが言語に興味を持ったきっかけです。中学から本格的に英語の学習が始まり、成績はそこそこでした。(1番は数学でした笑)中高と6年間英語を学習し、高校卒業後の進路を考えた際に、英語の教員を目指すに至りました。(教員を目指すきっかけはここでは触れません)大学進学後は、より深く英語を学び、3年次にはオーストラリアでインターンシップを行いました。実際に英語を話す地で働いた経験は、私にとって忘れられないものとなりました。もし、英語を専攻していなかったら、同じ経験はできていなかったと思います。



まだ進路について漠然としたイメージしか持てない生徒も多くいると思います。まずは自分が興味のあることを中心に考えてみてはどうでしょう。(私の場合、サッカーでした。そこから英語。残念ながら、海外でのサッカー観戦は未だ実現していません。いつか叶えてみせます!)私は現在もサッカーを続けています。(月に1試合、そのための練習が週に1度くらいですが)本当に好きなことは長続きするものですね。長続きと言えば、53歳になった現在もJ1リーグでプレーしており、世界最高齢での得点記録を持っている三浦知良選手は「失敗して、考え悩むこともあるだろうけど、立ち止まっていたはいけない。一気に100メートルも進まなくていい。1センチでもいいから前に進もう。」と言っています。ひたむきで貪欲でかっこいいですね。



気が付くと2020年も残り2か月です。甲府西高校1年次生でいられるのも残り半年ありません。自分に合った進路実現をするために今のうちから多くのことに挑戦していきましょう。そして、クラス・年次の仲間と切磋琢磨し、素敵な高校生活を送ってください。先生方と協力し、皆さんが1センチでも前に進めるように全力でサポートしていきます。

2組副担任 有賀 駿